

会報

第 50 号

いまだ青春

(題字は野村萩市長)

編集発行

公益社団法人
萩広域シルバー
人材センター

～生きがいと地域のニーズを結びます～



「萩陶会」会員作



職	松	藤	吉	堀	藤	長	長	中	中
員	原	村	屋	永	田	谷	岡	村	村
一	宏	季	哲	孝	和	義	繁	隆	敏
同	征	志	夫	春	子	明	雄	次	雄

あけまして
おめでとう
ございます

平成二十九年 元旦





萩市長
野村 興 兒

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、平成二十五年七月二十八日の萩市東部を襲った豪雨災害から三年が経過し、農地の復旧や河川の改修がほぼ完了し、災害に対する危機意識の低下が危惧される中、熊本や鳥取を突如として大きな地震が襲い、北日本を中心に大規模な台風被害が発生するなど、改めて災害に対する意識を再認識する一年となったのではないかと思います。

さて、国内景気は緩やかな回復基調が続いているものの、萩市においては、少子・高齢化に伴う集落や地域の活力低下をはじめ、基幹産業であります農林水産業では後継者等の人材不足が続くなど、地方を取り巻く環境は依然厳しいものがあります。

そのような中、萩市では、「まち・ひと・し

ごと創生法」に基づいた、「萩市人口ビジョン」及び「萩市総合戦略」を平成二十七年十月に策定し、「萩の創生」を実現すべく、UJIターイン希望者に対するマッチング事業の実施や定住促進のための各種事業を実施しました。また、「萩にあるもの、萩にしかないもの」を活用したブランドの開発や、企業誘致や起業化の支援を実施し、販路・雇用拡大を促進するとともに商工業、農林水産業の振興を、国と連携して積極的に展開しております。

貴センター会員の皆様におかれましては、就業を通じて高齢者の健康維持や高齢者の社会参加に大いに寄与されるとともに、女性の社会進出やIOTを活用した在宅勤務など、従来とは大きく様変わりしたワークスタイルにおいても労働者が適材適所で能力が発揮できるためには、貴センター会員の豊富な知識と経験の果たす役割が、地域社会に対して今後より一層重要なものとなると考えております。

昨年は、明治維新の大きな転換期となった薩長同盟締結から一五〇年を迎え、今春には藩校明倫館を整備した新たな観光拠点「萩・明倫学舎」がオープンし、幕末の長州藩のチャレンジ精神やジオパーク構想、世界遺産等の情報を発信することとしております。そして平成三十年に迫った明治維新一五〇年に向けた諸行事について行ってきたいと考えておりますので、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴センターの益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご多幸、更なるご活躍をお祈り申し上げます、新春のご挨拶いたします。



理事長
中村 敏 雄

皆様には穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。全国の各地域に一つずつ設置されている高齢者の自主的な団体である「シルバー人材センター」は、世界中で日本だけにしかないシステムです。そのシルバー人材センターは、かつて国の二度にわたる事業仕分けなどにより補助金が減額され、これに伴い事務局職員も減額するなど、シルバー業界全体が委縮し、元気をなくした時期もありました。

しかし、政権交代後、平成二十七年一月の通常国会における首相の施政方針演説で、歴史的に初めて「シルバー人材センター」の固有名詞が登場し、「あらゆる人が生きがいを持って社会で活躍すれば、少子高齢社会においても、日本は力強く成長できるはずです。」と、言及されました。

シルバー人材センターは、今や全国では一三四団体、会員数約七十二万人、年間契約金額約三〇八五億円となっております。団体数、会員数こそピーク時より多少減少していますが、年間契約金額は近年では過去最高となっております。

これを一つの企業としてみると、会員数七十二万人は、トヨタ、ホンダ、日産の合計従業員数七十一万人に匹敵し、年間契約金額三〇八五億円は、東証一部上場企業の上位二割に入るほどで、全国のセンターを合わせると実に巨大な



阿武町長
中村 秀 明

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

公益社団法人 萩広域シルバー人材センターは、昭和六十一年の開設以来、三十年の長きにわたり、「自主・自立・協働・共助」の理念のもと、地域社会の活性化に貢献されていることに対して、敬意と感謝を申し上げます。同時に、私も行政の数々の業務について、ご支援、ご協力をいただいております。ここに、心から厚くお礼申し上げます。

さて、昨年一年間を振り返ってみますと、四月には震度七を記録した熊本地震、十月には震度六弱の鳥取地震、また、六つの台風が上陸し、東北・北海道地方に大きな被害を及ぼし、自然の脅威が猛威をふるい尊い命が奪われるなど、甚大な被害をもたらしました。地球温暖化に伴う環境の変化により、いつ、どこでこのような大規模な災害が発生するか予想がつかない今日、自治体は災害発生時の対応に関しましては、的確で迅速な対応を求められます。町とい

たしましても、これらの災害を対岸の火事とすることなく、危機感を持った対応策を講じて行く所存でございます。被害を受けられた皆様に対し、お見舞いを申し上げますとともに、一日

も早い、復旧・復興を願うものであります。

阿武町におきましては、昨年十月に宇田郷地区において、定置網漁業法人による未利用漁場の復活を図るとともに、その操業の柱となる「改革型漁船」「第十八おなし丸」が進水し、地元漁港において竣工式が行われました。この様な、大型定置網漁船の竣工は、町内では二十三年ぶりの明るい話題であり、I・Jターイン等による新たな雇用が生まれることや、これまでの夏型定置網業に加え、冬型定置網業が復活する事による漁獲量の増加は元より、阿武町の漁業振興が図られることに大きな期待を寄せているところでございます。

少子・高齢化が進みます進展する中で、地域社会の活力を維持していくためには、高齢者の方々が年齢に関わりなく社会参加できる環境づくりが重要となってきます。

そのためには、健康で働く意欲のある皆様はこれまでの豊富な経験を活かし、地域社会の担い手となって活躍いただくことが、地域の活性化につながっていくこととなり、町といたしましても会員皆様方のご活躍を切に願っております。

最後になりますが、萩広域シルバー人材センターの益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝で、一層のご活躍をされることを祈念申し上げます、新年のごあいさつとします。



皆様には穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

全国の各地域に一つずつ設置されている高齢者の自主的な団体である「シルバー人材センター」は、世界中で日本だけにしかないシステムです。

そのシルバー人材センターは、かつて国の二度にわたる事業仕分けなどにより補助金が減額され、これに伴い事務局職員も減額するなど、シルバー業界全体が委縮し、元気をなくした時期もありました。

しかし、政権交代後、平成二十七年一月の通常国会における首相の施政方針演説で、歴史的に初めて「シルバー人材センター」の固有名詞が登場し、「あらゆる人が生きがいを持って社会で活躍すれば、少子高齢社会においても、日本は力強く成長できるはずです。」と、言及されました。

シルバー人材センターは、今や全国では一三四団体、会員数約七十二万人、年間契約金額約三〇八五億円となっております。団体数、会員数こそピーク時より多少減少していますが、年間契約金額は近年では過去最高となっております。

これを一つの企業としてみると、会員数七十二万人は、トヨタ、ホンダ、日産の合計従業員数七十一万人に匹敵し、年間契約金額三〇八五億円は、東証一部上場企業の上位二割に入るほどで、全国のセンターを合わせると実に巨大な

組織と売上げを誇っています。

しかし、この会員数七十二万人は、六十歳以上の人口に占める割合でみれば、わずかに一・八%に過ぎません。

高齢者の七割近くが、六五歳を超えても働きたいと願っているのに対し、実際に働いている人は二割にとどまっていることから、平成二十八年六月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」の中では、「人口が減少する中で我が国の成長力を確保していくためにも、高齢者の就業率を高めていくことが重要である。」とされています。

萩広域シルバー人材センターにおいても、六十歳以上の人口に占める会員数の割合は、全国平均と同様の一・八%となっております。

公益事業を営む性格上、財政体質としてはどうしても国や地方公共団体からの補助金に頼らざるを得ない実態となっております。そうした意味から言えば、シルバー人材センターのパワーを示す会員数が尻すぼみになってはなりません。

したがって、現在、この会員の増強を図ることが、新規就業開拓とともに、シルバー業界全体にとって大変重要な課題となっております。

どうぞ、会員の皆様もお知り合いの方にお声をかけていただき、一人でも多くの皆さんが会員登録されますよう、ご協力をお願いいたします。

終わりにあたり、この一年、会員の皆様健康で元気に活躍されますよう、また、本年酉年が平穏で、皆様にとりまして良い年となりますようご祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。

普及・入会勧誘活動



イベントでのチラシ配り



商業施設でのチラシ配り

昨年、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正によりシルバー人材センターが法制化（昭和六十一年十月一日施行）されて三十周年を迎えるという、節目の年でした。

これを記念し、当センターでは「シルバー人材センター法制化三十周年記念事業」の一環として、「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」の十月を中心に多くの会員の方々のご協力を得て、各地域で公共施設の草刈・剪定・障子の張り替えや市町庁舎の門松製作等の無償ボランティア活動のほか、ふるさとまつりの際等においてシルバー人材センターの周知普及活動、新規会員の入会勧誘活動に取り組みました。ご協力をいただきました会員の皆様、大変ありがとうございました。



シルバー人材センター 法制化三十周年 記念事業の取り組み

奉仕作業



草刈り作業



草取り作業



襖・障子張り作業



芋掘り作業



剪定作業

蒺手芸クラブ「蒺きららの会」 に入会されませんか

代表 金子勝子



イベントでの作品販売

毎月第一・第三水曜日に蒺事務所の和室で楽しく手芸をしています。ポケ防止のため、手を動かしお喋りに花を咲かせ、お菓子にお茶にと、にぎやかに楽しんでいきます。

五月の浜崎伝建おたから博物館、十一月の萩ふるさとまつりで、日頃自分達の作った手芸品などの作品を販売しています。

「私は手芸はできない」、「材料代がかかるのでは?」と思う方、一日中お喋りをしない方、一度手芸クラブの様子を見に来てみませんか、楽しい仲間ですよ!お待ちしております。

須佐手芸の会 「須佐すみれ会」 入会受付中

代表 田村泰子



集まって作品を製作

現在は十名で毎週水曜日に八十八歳の先輩を迎え楽しく活動しています。

年二〜三回のイベントでは、「すみれ会」をピーアールし、すっかり定着してきたようです。

各自で販売品を協力して作り、売上でささやかな慰労会、近くの温泉に行きしばしのんびり・・・。

近年は皆さん歳を重ね、会えば、腰が・足が・血圧が・家庭の愚痴・・・皆、堰を切ったように口だけ何時までも達者で・・・疲れた顔で来た人も解散時には「楽しかった、やっぱりここに来ると元気になる」大いに笑ってストレスも発散して・・・。

可憐な「すみれ会」の花は、今やたくましくしっかりと大地に根を張り、まだまだ負けず頑張ります。入会受付中、どうぞ遊びに来て下さい。まさに「いまだ青春」の精神です。いつまでもこの会が続けていきますように。



親睦会

親睦会旅行記

親睦会会長 中村久一

参加者は三十二名で、九月十五日早朝に出発し、山陰路を走り「蒜山高原センター」で昼食をとりました。その時のジンギスカンの焼肉の美味しかったこと。最高の満足顔でした。「ひるぜんワイナリー」では、山葡萄のワインを試飲し、昼間から上機嫌でした。そして本日最後の「鳥取二十世紀梨記念館・なしっこ館」では、梨づくりの苦労等をしつかり研修しました。宿は名湯三朝温泉です。温泉で旅の疲れを癒し、宴会では美味しい料理とカラオケで楽しい一時を過ごしました。

二日目、元気に出発し、「砂の美術館」を見学しました。砂による作品は見事でした。帰路は車内で豪華景品でのビンゴゲームを行いました。時間が経つのも忘れ盛況でした。今後とも健康に気をつけて、仕事に生活に頑張つて、元気に再会できることを願っています。

公益社団法人では、これまでに適正就業についての取り組みが求められています。適正就業の推進から、今後、就業日数・就業時間数・長期継続就業について、必要な調整を図ってまいりますので、会員の皆様のご理解をお願いいたします。また、希望職種の変更や追加の就業希望等のある方は申し出て下さい。適性を考慮の上、今後の就業の提供に反映したいと思っております。職種については各事務所に問い合わせ下さい。就業先の募集情報等がある場合もあります。継続就業の交替の申し出は早目にご連絡を下さい。毎年、何人かの会員さんが三月末に突然来所され、来週から交替したいと申し出をされることがあります。急には、対応が困難だけでなく、発注者にもご迷惑をおかけいたしませんので、こうしたことのないよう宜しくお願いします。

適正就業にご理解を！

安全委員会だより

就業中の事故状況

地区	発生日	就業内容	損害・障害状況
萩	28. 5.30	就業途上	打撲・擦り傷
萩	28. 7. 4	草刈	肩の脱臼
萩	28. 7.11	就業途上	正面衝突・打撲
田万川	28. 7.18	草刈	足甲の裂傷
萩	28. 8. 1	運転	正面衝突・打撲
萩	28.10. 6	枝落し	左手首切傷

安全巡回パトロールを七月二十一日(木)に実施しました。中村理事長、中村安全委員長、堀永安副委員長、中野業務課長の四名で、萩地域の民地の草刈、須佐地域の公園の草刈、田万川地域の市道の草刈、むつみ地域の市道の草刈、家庭の剪定の五か所の就業現場を巡回し、事故防止対策の状況確認を行いました。事故はいつ発生するかわかりませんが、今後も安全就業の取組みを継続し、会員一人一人の安全意識の高揚を図っていきます。



安全のため就業現場を巡回

事故緊急時の連絡
シルバー人材センターの
休日及び時間外
緊急連絡先

(萩) ☎090-7974-5503
(阿武) ☎080-5628-9530
(むつみ) ☎080-5628-9535
(須佐) ☎080-5611-9328
(田万川) ☎080-5611-9334

シルバー保険制度について

※傷害保険、損害保険について

●シルバー人材センターは、会員が就業中に傷害などを被った場合に補償を行うシルバー人材センター団体傷害保険と、会員が業務の遂行中に他人の身体や財物に損害を与えた場合などに補償を行う、シルバー人材センター賠償責任保険に加入しています。

●双方の保険とも、シルバー人材センターが会員を被保険者として民間保険会社と契約しています。

①シルバー人材センター団体傷害保険の概要

保険金の種類	保険金額	保険給付対象
死亡保険金	600万円	事故日から180日以内で、そのケガが原因で死亡した場合
後遺障害保険金	死亡保険金の4%~100%	事故日から180日以内で、そのケガが原因で後遺障害が生じた場合
入院保険金	1日5,000円	事故日から180日以内で、そのケガが原因で医師の指示に基づき入院した場合(180日限度)
手術保険金	5,000円×所定倍率	手術の内容等により手術保険金の倍率が変わります
通院保険金	1日3,000円	事故日から180日以内で、そのケガが原因で医師の指示に基づき通院した場合(90日限度)

②シルバー人材センター賠償責任保険の概要

- 他人の身体への賠償、保険金額は1名につき3000万円を限度とし、1事故1請求または、1保証につき1億円が限度
- 財物の賠償については、保険金額は、1事故1請求または、1保証につき1000万円が限度
- 会員の自己負担額(免責額)は、1万円



講習風景

シルバー安全運転コンテストに参加して

九月二十四日市内の六十五歳以上の高齢ドライバーを対象とした「シルバー安全運転コンテスト」が萩自動車学校で開催されました。センターからは八名の会員が参加し、日頃の運転技能や交通ルールの再確認を行いました。

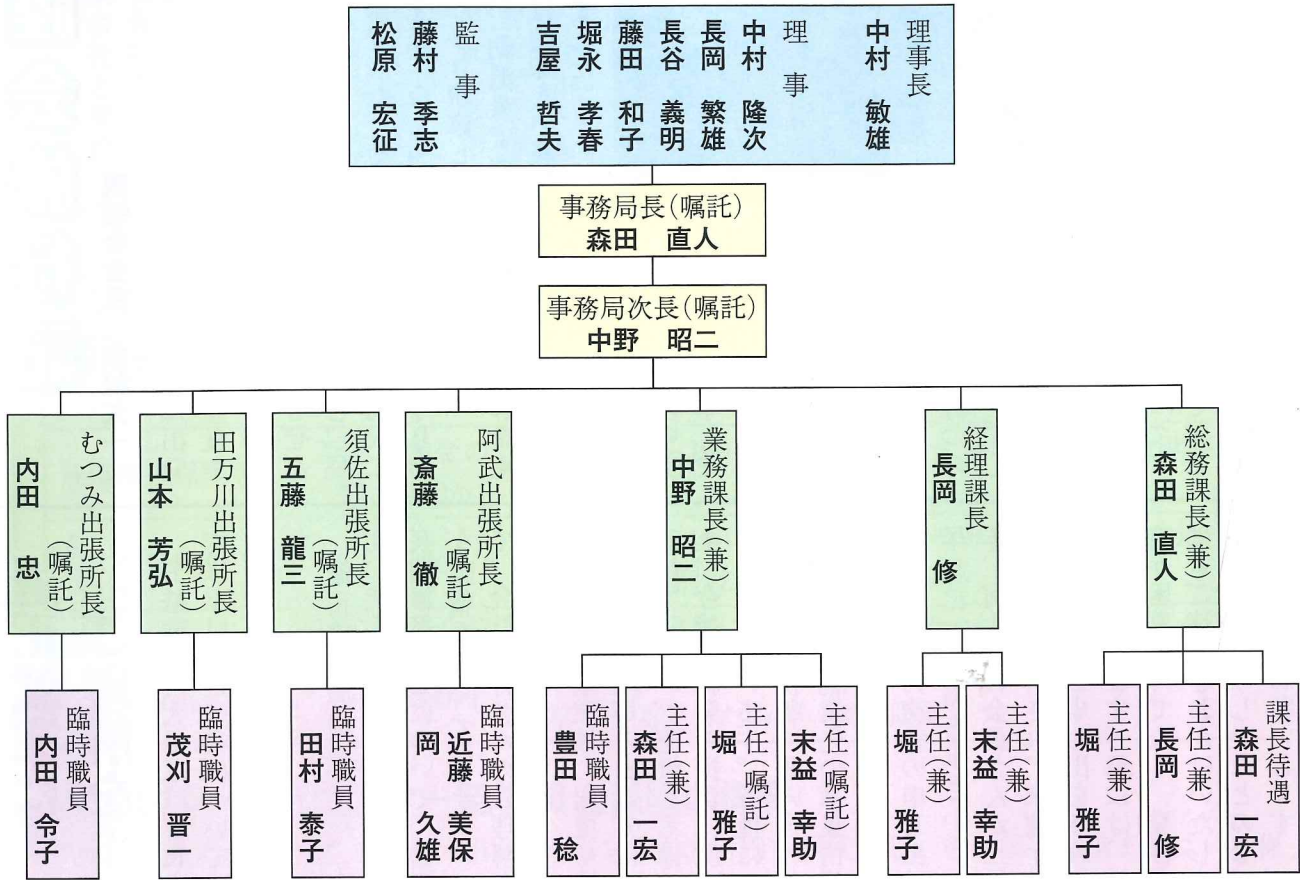
車を運転する時は、歩行者・対向車等に注意し、安全運転を心がけましょう。



実技テスト

公益社団法人萩広域シルバー人材センター機構図

平成29年1月1日現在



健康管理について



普段の食事や適度の運動を通して、日々の健康管理に努めましょう。健康診断等については、自治体による補助制度もあり、市町の広報誌等を通じ案内されていますので積極的に受診され、診断結果等は保管し、発注者から求められた時は説明ができるよう心がけて下さい。

また、個人で医療機関を受診された際の診断結果も役立ちますので、保管をお願いします。

特に、派遣として就業されている会員さんは、派遣元である山口県シルバー人材連合会から、健康管理について、お尋ねされる場合がありますので宜しくお願いします。

配分金所得と確定申告について

シルバー人材センターで得た「配分金収入」は所得税法上「雑所得」に区分され、65万円まで控除されます。1月下旬に「配分金支払証明書」を用意しますので、確定申告が必要な方は、各自で手続きをして下さい。

配分金支払日

- 1月25日(水) 2月24日(金)
- 3月24日(金) 4月25日(火)
- 5月25日(木) 6月23日(金)
- 7月25日(火) 8月25日(金)
- 9月25日(月) 10月25日(水)
- 11月24日(金) 12月25日(月)



広報委員会 構成				
委員長	委員	委員	委員	委員
長岡 繁雄	長谷 義明	豊田 滋	西村 弘義	森田 直人
				森田 一宏